

2019年度

学生シラバス

(本科・専科 実習編)

学校法人 葛谷学園

中和医療専門学校

専科1年生

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	通年
科目名	はり基礎実習S	科目の別	実習	単位数	4
担当教員	二村 浩之	実務経験	有	時間数	120
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。 ・鍼の基本的手技と技術を習得し、適切にできるまでの能力と態度を身に付ける。 ・施術部位・術者の手指・鍼具等の消毒を習慣化する。施術における諸注意を理解する。 ・はりきゅう実技(基礎編)第1章基礎実習の2、鍼の基本実技(P9～28)を練習する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・片手挿管法がスムーズにできる。 ・刺鍼法の使い分けが適確にできる。 (必修到達目標) <ul style="list-style-type: none"> ・中和式基礎マニュアルに沿った、管鍼法・撚鍼法の一連の流れができる。 ・現行17手技ができる。 ・無理のない姿勢で手技が行える。 				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験(前期・後期)に平常点(出席等)を考慮し評価する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブルJタイプ:寸3-2番、寸3-1番、寸6-2番 銀 鍼:寸3-2番、寸6-2番 指サック、グローブ、オートクレーブ				
使用 テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	施術上の注意⑬、はり基本実技⑬
2	消毒法①	17	施術上の注意⑭、はり基本実技⑭
3	消毒法②	18	施術上の注意⑮、はり基本実技⑮
4	施術上の注意①、はり基本実技①	19	刺入の実際①
5	施術上の注意②、はり基本実技②	20	刺入の実際②
6	施術上の注意③、はり基本実技③	21	刺入の実際③
7	施術上の注意④、はり基本実技④	22	刺入の実際④
8	施術上の注意⑤、はり基本実技⑤	23	刺入の実際⑤
9	施術上の注意⑥、はり基本実技⑥	24	刺入の実際⑥
10	施術上の注意⑦、はり基本実技⑦	25	刺入の実際⑦
11	施術上の注意⑧、はり基本実技⑧	26	刺入の実際⑧
12	施術上の注意⑨、はり基本実技⑨	27	まとめ・総括①
13	施術上の注意⑩、はり基本実技⑩	28	まとめ・総括②
14	施術上の注意⑪、はり基本実技⑪	29	まとめ・総括③
15	施術上の注意⑫、はり基本実技⑫	30	まとめ・総括④

回数	授業計画	回数	授業計画
31	刺鍼の方法①	46	刺鍼中の手技④
32	刺鍼の方法②	47	刺鍼中の手技⑤
33	刺鍼の方法③	48	刺鍼中の手技⑥
34	刺鍼の方法④	49	刺鍼中の手技⑦
35	刺鍼の方法⑤	50	刺鍼中の手技⑧
36	刺鍼の方法⑥	51	刺鍼中の手技⑨
37	刺鍼の方法⑦	52	刺鍼中の手技⑩
38	刺鍼の方法⑧	53	刺鍼中の手技⑪
39	刺鍼の方法⑨	54	刺鍼中の手技⑫
40	刺鍼の方法⑩	55	刺鍼中の手技⑬
41	刺鍼の方法⑪	56	刺鍼中の手技⑭
42	刺鍼の方法⑫	57	まとめ・総括⑤
43	刺鍼中の手技①	58	まとめ・総括⑥
44	刺鍼中の手技②	59	まとめ・総括⑦
45	刺鍼中の手技③	60	まとめ・総括⑧

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	1年	学 期	通年
科目名	きゅう基礎実習S- I	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	早瀬 真輝子	実務経験	有	時間数	60
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施術上の注意について、その意義を理解する。 ・灸施術の準備を適切に行う。 ・有痕灸の基本型・同時複数点施灸の練習・無痕灸・灸の補瀉などについて実際に行い、身体各部に施灸を行えるように繰り返し練習する。 ・実習室の整理・整頓、服装、頭髪、手指の消毒などに気を配り、治療師としての心構えを養う。 				
到達目標	指示された中和式灸法が適切にできる。 (必修到達目標) 1分間連続施灸を3壮以上行うことができる (半米粒大もしくは米粒大)				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 平常実技(出席・授業態度・実技到達度チェック) 定期試験				
使用機器,教材	艾、線香、施灸練習器、和紙、灸点ペン、灸点紙、ライター				
使用テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	灸術の実際・有痕灸 ⑧
2	艾の解説 ① 基本実技 ①	17	灸術の実際・有痕灸 ⑨
3	艾の解説 ② 基本実技 ②	18	灸術の実際・無痕灸 ③
4	艾の解説 ③ 基本実技 ③	19	灸術の実際・無痕灸 ④
5	基本実技 ④	20	灸術の実際・無痕灸 ⑤
6	基本実技 ⑤	21	灸術の実際・無痕灸 ⑥
7	灸術の種類・実際・有痕灸 ①	22	灸術の実際・無痕灸 ⑦
8	灸の過誤、灸術の実際、有痕灸 ②	23	灸術の実際 ①
9	灸術の実際、有痕灸 ③	24	灸術の実際 ②
10	灸術の実際、有痕灸 ④	25	灸術の実際 ③
11	灸術の実際・有痕灸 ⑤	26	灸術の実際 ④
12	灸術の実際・有痕灸 ⑥	27	灸の補瀉法 ①
13	灸術の実際・無痕灸 ①	28	灸の補瀉法 ②
14	灸術の実際・無痕灸 ②	29	まとめ・総括 ①
15	灸術の実際・有痕灸 ⑦	30	まとめ・総括 ②

専科2年生

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	特殊鍼法S-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	古橋 一人	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・特殊鍼法(小児鍼、低周波鍼通電)について、その特徴を理解する。また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、出席点、平常実技態度点(若干) 以上を評価する。				
使用 機器,教材	ステンレス鍼:Jタイプ寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ステンレス鍼:Lタイプ寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼 : 小児鍼、 パルス、電極				
使用 テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	いろいろな鍼を使つての実技となりますので、できるだけ欠席しないように留意して下さい。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	小児鍼①	17	
3	小児鍼②	18	
4	小児鍼③	19	
5	小児鍼④	20	
6	低周波鍼通電①	21	
7	低周波鍼通電②	22	
8	低周波鍼通電③	23	
9	低周波鍼通電④	24	
10	低周波鍼通電⑤	25	
11	低周波鍼通電⑥	26	
12	低周波鍼通電⑦	27	
13	低周波鍼通電⑧	28	
14	まとめ総括①	29	
15	まとめ総括②	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	特殊鍼法S-II	科目の別	実習	単位数	2
担当教員	古橋 一人	実務経験	有	時間数	60
学修内容	・特殊鍼法(灸頭鍼、皮内鍼・円皮鍼、耳鍼、打鍼法、中国鍼、鍼の補瀉、特殊部位の刺鍼、頭鍼、良導絡)について、その特徴を理解する。また、各種特殊鍼法を練習する。				
到達目標	・各種特殊鍼法を実際に身体各部に施術できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、出席点、平常実技態度点(若干) 以上を評価する。				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 銀鍼寸3-1番 ディスプレイ型鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番、寸6-3番、寸6-4番 特殊鍼:長針(3寸5番)、中国鍼(2インチ32番・3インチ32番)、皮内鍼、円皮鍼 打鍼器、パイオネックス、マグレイン、王不留行 ノイロメーター、ひびき7号、ココロケーター、艾				
使用 テキスト等	はりきゅう実技(基礎編)、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	いろいろな鍼を使っての実技となりますので、できるだけ欠席しないように留意して下さい。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	中国鍼②
2	灸頭鍼①	17	中国鍼③
3	灸頭鍼②	18	鍼の補瀉①
4	灸頭鍼③	19	鍼の補瀉②
5	灸頭鍼④	20	鍼の補瀉③
6	灸頭鍼⑤	21	鍼の補瀉④
7	灸頭鍼⑥	22	打鍼法
8	灸頭鍼⑦	23	頭鍼①
9	皮内鍼・円皮鍼①	24	頭鍼②
10	皮内鍼・円皮鍼②	25	良導絡①
11	皮内鍼・円皮鍼③	26	良導絡②
12	皮内鍼・円皮鍼④	27	まとめ総括①
13	耳鍼	28	まとめ総括②
14	特殊部位の刺鍼	29	まとめ総括③
15	中国鍼①	30	まとめ総括④

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	きゅう基礎実習S-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	川瀬 有美子	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1年次に修得した灸施術を目的にそって身体各部に施灸が出来るよう実践的な能力を身に付ける。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	・人体への連続施灸ができる。(半米粒大もしくは糸状灸、七分灸もしくは緩和紙) ・温灸の取り扱いについて理解し、適切に使用できる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験と平常点(欠席の場合、減点する)				
使用 機器,教材	艾、各種温熱灸、施灸練習器、灸点紙、線香、ライター、竹筒、ガーゼ				
使用 テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、あはき基礎実習マニュアル				
留意点	半米粒大、透熱灸を人体に行っていく為、火傷をしやすい。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・1年次の復習 灸術の実際(有痕灸・無痕灸)①	16	
2	灸術の実際(有痕灸・無痕灸)②	17	
3	灸術の実際(有痕灸・無痕灸)③	18	
4	灸術の実際(有痕灸・無痕灸)④	19	
5	灸術の実際・各種温灸①	20	
6	灸術の実際・各種温灸②	21	
7	灸術の実際・各種温灸③	22	
8	灸術の実際・各種温灸④	23	
9	灸術の実際・各種温灸⑤	24	
10	灸術の実際・各種温灸⑥	25	
11	灸術の実際・灸の補瀉法①	26	
12	灸術の実際・灸の補瀉法②	27	
13	灸術の実際	28	
14	まとめ・総括 ①	29	
15	まとめ・総括 ②	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習S-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	佐藤 康彦	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (督脈、任脈、肺経、大腸経、胃経、脾経、心経、小腸経) ・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。 ・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主要経穴を実際に指示できる。 ・主要経穴に施鍼、施灸ができる。 				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験の評価(60点)及び平常実技点(40点)の合計評価				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技〈基礎編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、督脈①	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、任脈①	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、任脈②・督脈②	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、肺経①	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、大腸経①	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、大腸経②	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胃経①	23	
9	主要穴の施鍼・施灸、胃経②	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、胃経③	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、脾経①	26	
12	主要穴の施鍼・施灸、脾経②	27	
13	主要穴の施鍼・施灸、心経①	28	
14	主要穴の施鍼・施灸、小腸経①	29	
15	主要穴の施鍼・施灸、小腸経②、まとめ・総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	はり、きゅう応用実習S-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	早野 徳俊	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・十四経の経穴について生体観察を交えながら、その取穴を練習する。 (膀胱経、腎経、心包経、三焦経、胆経、肝経及び、奇穴・奇経八脈を含む) ・上記の経の主要穴に施鍼・施灸ができるように練習する。 ・上記経穴に、各種特殊鍼灸法を応用し練習する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主要経穴を実際に指示できる。 ・主要経穴に施鍼、施灸ができる。 				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 口頭試問(症例問題)				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸6-2番、寸6-3番、1寸-02番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸3-4番 ツボシール、艾、パルス				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、はりきゅう実技(基礎編)				
留意点	見て触れて説明を出来てを目指すこと。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経①	16	
2	主要穴の施鍼・施灸、膀胱経②	17	
3	主要穴の施鍼・施灸、腎経①	18	
4	主要穴の施鍼・施灸、腎経②	19	
5	主要穴の施鍼・施灸、心包経	20	
6	主要穴の施鍼・施灸、三焦経	21	
7	主要穴の施鍼・施灸、胆経①	22	
8	主要穴の施鍼・施灸、胆経②	23	
9	要穴の施鍼・施灸、肝経	24	
10	主要穴の施鍼・施灸、奇穴①、まとめ	25	
11	主要穴の施鍼・施灸、奇経八脈(任脈・督脈除く)	26	
12	まとめ総括①	27	
13	まとめ総括②	28	
14	まとめ総括③	29	
15	まとめ総括④	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	はり、きゅう応用実習S-III	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	佐藤 康彦	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する鍼灸施術を練習する。				
到達目標	・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患の特徴を述べる事ができる。 ・神経・疼痛疾患、呼吸器疾患に対する代表的な鍼灸施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験の評価(60点)及び平常実技点(40点)の合計にて評価				
使用 機器,教材	ディスプレイ型鍼灸タイプ:寸3-1番、2番、3番 寸6-2番、3番 ディスプレイ型鍼灸タイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用 テキスト等	はりきゅう実技〈基礎編〉、東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点	後期、臨床治療所入室に対しての医療人としての資質に注意を払う。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、神経・疼痛疾患(胸痛・腹痛)	16	
2	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	17	
3	神経・疼痛疾患(腰下肢痛)	18	
4	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	19	
5	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	20	
6	神経・疼痛疾患(肩こり・肩関節痛・頸肩腕痛・上肢痛)	21	
7	神経・疼痛疾患(膝痛)	22	
8	神経・疼痛疾患(膝痛)	23	
9	神経・疼痛疾患(運動麻痺)	24	
10	神経・疼痛疾患(歯痛・頭痛)	25	
11	神経・疼痛疾患(顔面痛・顔面麻痺)	26	
12	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	27	
13	呼吸器疾患(鼻閉鼻汁・咳嗽・喘息)	28	
14	まとめ総括①	29	
15	まとめ総括②	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	はり、きゅう応用実習S-IV	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	早野 徳俊	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・泌尿器疾患、消化器疾患、その他の疾患に対する鍼灸施術を練習する。				
到達目標	・泌尿器疾患、消化器疾患、その他の疾患の特徴を述べる事ができる。 ・泌尿器疾患、消化器疾患、その他の疾患に対する代表的な鍼灸施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験(刺鍼・施灸)				
使用機器,教材	ディスプレイダブル鍼Jタイプ:寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスプレイダブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用テキスト等	はりきゅう実技<基礎編>、東洋医学臨床論<はりきゅう編>				
留意点	実習時間を大切に！				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション、泌尿器疾患(月経異常・排尿障害・勃起障害)	16	
2	泌尿器疾患(月経異常・排尿障害・勃起障害)	17	
3	泌尿器疾患(月経異常・排尿障害・勃起障害)	18	
4	泌尿器疾患(月経異常・排尿障害・勃起障害)	19	
5	泌尿器疾患(月経異常・排尿障害・勃起障害)	20	
6	消化器疾患(悪心嘔吐・便秘下痢・食欲不振)	21	
7	消化器疾患(悪心嘔吐・便秘下痢・食欲不振)	22	
8	消化器疾患(悪心嘔吐・便秘下痢・食欲不振)	23	
9	その他の疾患(眼精疲労・脱毛症・耳鳴り難聴・肥満・発熱・発疹・小児)	24	
10	その他の疾患(眼精疲労・脱毛症・耳鳴り難聴・肥満・発熱・発疹・小児)	25	
11	その他の疾患(眼精疲労・脱毛症・耳鳴り難聴・肥満・発熱・発疹・小児)	26	
12	その他の疾患(眼精疲労・脱毛症・耳鳴り難聴・肥満・発熱・発疹・小児)	27	
13	その他の疾患(眼精疲労・脱毛症・耳鳴り難聴・肥満・発熱・発疹・小児)	28	
14	まとめ・総括①	29	
15	まとめ・総括②	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	2年	学 期	前期
科目名	臨床実習入門S-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	村松 篤	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。 ・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。 ・臨床実習予備練習として患者との応対、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。 				
到達目標	各種検査法を適切に行うことができる。 患者に適切な対応ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験100点 出席点:欠席-5点、遅刻・早退-3点(正当な理由がある場合は除く) 平常点:0~50点(授業態度・心構えなど治療師として相応しくない場合)				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1、寸3-2番、寸6-2、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	総合①	17	
3	総合②	18	
4	総合③	19	
5	総合④	20	
6	腰下肢痛①	21	
7	腰下肢痛②	22	
8	腰下肢痛③	23	
9	腰下肢痛④	24	
10	頸上肢痛①	25	
11	頸上肢痛②	26	
12	頸上肢痛③	27	
13	頸上肢痛④	28	
14	自律神経失調症①	29	
15	まとめ・総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2年	学 期	後期
科目名	臨床実習入門S-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	村松 篤	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「臨床入門」に基づいてカルテの記入方法等を学習する。 ・各疾患に応じた理学検査法等を練習する。 ・臨床実習予備練習として患者との対応、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。 				
到達目標	各種検査法を適切に行うことができる。 患者に適切な対応ができる。 臨床実習施術前実技試験に合格する。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 前条件: 臨床実習施術前実技試験合格している事 定期試験100点 出席点: 欠席-5点、遅刻・早退-3点(正当な理由がある場合は除く) 平常点: 0~50点(授業態度・心構えなど治療師として相応しくない場合)				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1、寸3-2番、寸6-2、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 各種検査器具、パルス、艾、皮内鍼				
使用テキスト等	(中和作成) 臨床入門、問診診察ハンドブック				
留意点	指示された部位に苦痛なく鍼施術ができる。 施灸練習器に1分間に4壮以上半米粒大にて施灸できる。 要穴表の経穴を実際に取穴できる。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	五十肩①	16	
2	五十肩②	17	
3	五十肩③	18	
4	膝関節痛①	19	
5	膝関節痛②	20	
6	膝関節痛③	21	
7	理学検査	22	
8	治療所前教育①	23	
9	治療所前教育②	24	
10	治療所前教育③	25	
11	まとめ・総括①	26	
12	まとめ・総括②	27	
13	治療所実習①	28	
14	治療所実習②		臨床実習前施術実技試験 学科
15	治療所実習③		臨床実習前施術実技試験 実技

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	2・3年	学 期	通年
科目名	臨床実習S	科目の別	実習	単位数	4
担当教員	清川 朝栄	実務経験	有	時間数	180
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般患者に対して、指導教員の指示のもとで、「はき」施術を実際に行う。 ・臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。 ・治療所の清潔・整頓などを実際に行う。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録が適切にできる。 				
成績評価	<p>評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常実技点 80点、レポート 20点 ・平常実技は、出席(20点)・態度(20点)・臨床能力(40点)の総合で評価する。 ・レポートは、前期・後期の平均(20点)で評価する。 				
使用 機器,教材	<p>ディスプレイブル鍼Jタイプ:寸3-1~3番、寸6-1~3番 ディスプレーブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、各種検査器具および物理療法器具、艾、各種温灸、キネシオテープ</p>				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、経絡経穴概論				
留意点					
授業計画	<p>2年次の1月から3年次の12月まで1週間に4コマ程度臨床実習を実施する。 また、学年末休業中及び夏期休業中に終日臨床実習を行う日が数回ある。 2, 3年次の期間で180時間以上臨床実習を実施する。</p>				

専科3年生

2019年度 授業計画

		科	はり、きゆう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	関連療法S-I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	松本 卓	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・はき師を取り巻く環境について学習する。 ・はき師の業務(保険取扱い等)について学習する。 ・はき師の役割について学習する。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会におけるはき師の役割・業務を理解する。 				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 筆記試験、欠席による減点あり。				
使用 機器,教材					
使用 テキスト等	社会あはき学				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	はき師を取り巻く環境①	16	
2	はき師を取り巻く環境②	17	
3	はき師を取り巻く環境③	18	
4	はき師を取り巻く環境④	19	
5	はき師を取り巻く環境⑤	20	
6	地域で期待されるはき師の業務①	21	
7	地域で期待されるはき師の業務②	22	
8	地域で期待されるはき師の業務③	23	
9	地域で期待されるはき師の業務④	24	
10	現代社会におけるはき師の役割①	25	
11	現代社会におけるはき師の役割②	26	
12	施術所の経営展開①	27	
13	施術所の経営展開②	28	
14	施術所の経営展開③	29	
15	まとめ・総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	関連療法S-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	松本 卓	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえて、患者の状態に応じた実践的な能力を養う。また施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の状態や目的にそった検査、知識について述べられる。 ・患者の状態に応じた鍼灸施術を行うことができる。 ・救急法、物理療法について概要を述べられる。 				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験、欠席による減点あり				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番、寸3-3番、寸6-2番、寸6-3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ: 寸3-3番、寸6-3番 皮内鍼、パルス、艾、テープ				
使用 テキスト等	社会あはき学				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション・社会的ニーズとはき師の役割	16	
2	併用するその他の療法	17	
3	要介護高齢者に対する機能回復訓練法とはき治療①	18	
4	要介護高齢者に対する機能回復訓練法とはき治療②	19	
5	子供のスポーツ障害の予防と治療①	20	
6	子供のスポーツ障害の予防と治療②	21	
7	スキンケア・ダイエットに応用するはき治療	22	
8	ストレスが惹起する症状へのはき治療①	23	
9	ストレスが惹起する症状へのはき治療②	24	
10	産業衛生におけるはき治療	25	
11	スポーツ傷害とはき施術①	26	
12	スポーツ傷害とはき施術②	27	
13	がん治療に伴う愁訴へのアプローチ	28	
14	人工透析・リンパ浮腫患者へのアプローチ	29	
15	まとめ・総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	はりきゅう応用実習S-V	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	平松 希望	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	・内科疾患に必要な検査、知識について述べられる。 ・内科疾患に対し安全に鍼灸の施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験 70点、出席及び授業態度 30点 (欠席1回につき2点減点、授業内に与えられる課題に取り組む態度も評価対象とする。)				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:1寸-01番、02番、寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用 テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	歯痛	17	
3	眼精疲労	18	
4	鼻閉・鼻汁	19	
5	脱毛症	20	
6	めまい	21	
7	耳鳴り、難聴	22	
8	咳嗽	23	
9	腹痛 / 悪心、嘔吐	24	
10	便秘	25	
11	下痢	26	
12	月経異常	27	
13	排尿障害	28	
14	勃起障害(ED)	29	
15	まとめ総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	はりきゅう応用実習S-VI	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	平松 希望	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	・内科疾患・小児疾患・スポーツ障害(傷害)に必要な検査、知識について述べられる。 ・内科疾患・小児疾患・スポーツ障害(傷害)に対し安全に鍼灸の施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 定期試験 70点、出席及び授業態度 30点 (欠席1回につき2点減点、授業内に与えられる課題に取り組む態度も評価対象とする。)				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:1寸-01番、02番、寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス、各種小児鍼				
使用 テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点					

回数	授業計画	回数	授業計画
1	血圧異常①	16	
2	血圧異常②	17	
3	食欲不振	18	
4	肥 満	19	
5	発 熱	20	
6	のぼせと冷え	21	
7	不眠	22	
8	疲労と倦怠	23	
9	発疹	24	
10	まとめ総括①	25	
11	小児の症状	26	
12	まとめ総括②	27	
13	まとめ総括③	28	
14	まとめ総括④	29	
15	スポーツ障害	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	はりきゅう応用実習S-VII	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	早野 徳俊	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・1, 2年次に修得した鍼灸技術、物理療法などを踏まえ、患者の状態に応じた鍼灸施術の実践的な能力を養う。また、施術者としての責任と使命を認識する。				
到達目標	・老年医学・循環器疾患に必要な検査、知識について述べられる。 ・老年医学・循環器疾患に対し安全に鍼灸の施術ができる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 口頭試問(症例問題)				
使用機器,教材	ディスプレイダブル鍼Jタイプ:1寸-01番、02番、寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 ディスプレイダブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 艾、パルス				
使用テキスト等	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉				
留意点	患者(老人)に対して症状・施術内容の説明が行えるよう意識すること。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	老年医学の特徴	17	
3	老年医学における鍼灸療法①	18	
4	老年医学における鍼灸療法②	19	
5	老年医学における鍼灸療法③	20	
6	高血圧①	21	
7	高血圧②	22	
8	低血圧	23	
9	脳卒中①	24	
10	脳卒中②	25	
11	脳卒中③	26	
12	動脈硬化症①	27	
13	動脈硬化症②	28	
14	動脈硬化症③	29	
15	まとめ総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	はりきゅう応用実習S-VIII	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	古橋 一人	実務経験	有	時間数	30
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅治療での移乗動作等を知り、実際に行う。 ・治療院経営等に関わる税の仕組みを知る。 ・はりきゅう保険適応疾患について鍼灸施術や物理療法等を用い、より幅広くニーズに沿える実践的な能力を養う。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患や患者さん個々の状況などに対して、それらに対する必要な知識、鍼灸技術、物理療法など総合的な対応を述べられる。 				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 レポート提出、出席点				
使用機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1番、2番、3番、寸6-2番、3番 銀 鍼:寸3-1番、寸6-1番 各種装具、杖、車椅子、艾、パルス、介護基礎関連消耗品				
使用テキスト等	プリント				
留意点	介護の移乗動作体験等があるため、動きやすい服装にして下さい。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	介護基礎(体位変換)	16	
2	介護基礎(ベット移動)	17	
3	介護基礎(杖・装具)	18	
4	介護基礎(車椅子移動)	19	
5	介護基礎(栄養・嚥下)	20	
6	治療院経営(税について)	21	
7	治療院経営(税について)	22	
8	はりきゅう保険適応疾患(五十肩)	23	
9	はりきゅう保険適応疾患(頸肩腕症候群)	24	
10	はりきゅう保険適応疾患(腰痛症)	25	
11	はりきゅう保険適応疾患(頸椎捻挫)	26	
12	はりきゅう保険適応疾患(リウマチ)	27	
13	はりきゅう保険適応疾患(神経痛)	28	
14	まとめ総括①	29	
15	まとめ総括②	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	はりきゅう総合実習S- I	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	早野 徳俊	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・「経絡治療」の概略を知った上で、「証」に基づく選穴を考える能力を身に付ける。また、1, 2年次に習得したはりきゅうの手技を駆使し、補瀉を活用できる能力を身に付ける。				
到達目標	経絡治療の概念を理解する。 診察方法を知り、証立てを意識できるようになる。 補瀉の手技ができるようになる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 口頭試問(症例問題)				
使用 機器,教材	ディスプレイダブル鍼Jタイプ: 寸3-1番、寸3-2番 銀 鍼: 寸3-2番 艾				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、配付資料				
留意点	証立ての説明が口頭で行えるよう意識すること。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	オリエンテーション	16	
2	経絡治療とは	17	
3	診察と施術原則	18	
4	経絡の復習①	19	
5	経絡の復習②	20	
6	経絡の復習③	21	
7	診察の練習	22	
8	各証の施術方法①	23	
9	各証の施術方法②	24	
10	各証の施術方法③	25	
11	各証の施術方法④	26	
12	各証の施術方法⑤	27	
13	各証の施術方法⑥	28	
14	各証の施術方法⑦	29	
15	まとめ・総括	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	後期
科目名	はりきゅう総合実習S-II	科目の別	実習	単位数	1
担当教員	早野 徳俊	実務経験	有	時間数	30
学修内容	・「経絡治療」の概略を知った上で、「証」に基づく選穴を考える能力を身に付ける。また、1, 2年次に習得したはりきゅうの手技を駆使し、補瀉を活用できる能力を身に付ける。				
到達目標	経絡治療の概念を理解する。 診察方法を知り、証立てを意識できるようになる。 補瀉の手技ができるようになる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 口頭試問(症例問題)、平常点				
使用 機器,教材	ディスプレイ: 寸3-1番、寸3-2番 銀 鍼: 寸3-2番 艾				
使用 テキスト等	経絡経穴概論、配付資料				
留意点	証立ての説明が口頭で行えるよう意識すること。				

回数	授業計画	回数	授業計画
1	各証の施術方法①	16	
2	各証の施術方法②	17	
3	各証の施術方法③	18	
4	各証の施術方法④	19	
5	各証の施術方法⑤	20	
6	各証の施術方法⑥	21	
7	各証の施術方法⑦	22	
8	各証の施術方法⑧	23	
9	各証の施術方法⑨	24	
10	各証の施術方法⑩	25	
11	各証の施術方法⑪	26	
12	各証の施術方法⑫	27	
13	まとめ・総括①	28	
14	まとめ・総括②	29	
15	まとめ・総括③	30	

2019年度 授業計画

		科	はり、きゅう科		
		対象学年	3年	学 期	前期
科目名	臨床実習S	科目の別	実習	単位数	3
担当教員	清川 朝栄	実務経験	有	時間数	135
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般患者に対して、指導教員の指示のもとで、「はき」施術を実際に行う。 ・臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録の方法などを学習する。 ・治療所の清潔・整頓などを実際に行う。 				
到達目標	臨床実習の場で、患者の応対、検査法、治療の実際とそれらの記録が適切にできる。				
成績評価	評価は100点満点で行い60点以上を合格とする。 ・平常実技点 80点、レポート 20点 ・平常実技は、出席(20点)・態度(20点)・臨床能力(40点)の総合で評価する。 ・レポートは、前期・後期の平均(20点)で評価する。				
使用 機器,教材	ディスポーザブル鍼Jタイプ:寸3-1~3番、寸6-1~3番 ディスポーザブル鍼Lタイプ:寸3-3番、寸6-3番 小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、各種検査器具および物理療法器具、艾、各種温灸、キネシオテープ				
使用 テキスト等	(中和作成)臨床入門、経絡経穴概論				
留意点	患者とのコミュニケーション力を養うことが大切である。				
授業計画	3年次の4月から12月まで1週間に4コマ程度臨床実習を実施する。 また、夏期休業中に終日臨床実習を行う日が数回ある。 3年次の期間で135時間以上臨床実習を実施する。				